

下山地区データ（11月1日現在）		
人口	4,221 人	(-93)
男性	2,094 人	(-54)
女性	2,127 人	(-39)
世帯数	1,656 世帯	(-19)
※（ ）は、前年同月比		

令和3年12月15日発行



とよたラリーウィーク2021が下山地区で盛況



▲下山中学校でラリーカーから登場する勝田選手

11月1日（月）から14日（日）の間、「とよたラリーウィーク2021」としてラリーに関する様々なイベントが開催されました。

11月8日（月）は、下山中学校、大沼小学校の生徒・児童を対象にラリー教室が開催されました。愛知県出身で FIA 世界ラリー選手権に参戦中のラードライバー勝田貴元選手によるラリーカーのデモランが実施され、子どもたちがラリーの迫力や魅力を間近で感じていました。

勝田選手との交流で目を輝かせている児童・生徒やドローンで撮影した迫力あるデモラン映像などが Youtube で公開されていますので、ぜひご覧ください。

Youtube はこちら▶



また、13日（土）には FORUM 8 Central Rally 2021 が羽布町で開催され、レース中、ラリーカーやドライバーと地域の子もたちが記念撮影やサインをもらうなど触れ合う時間がありました。



▲ドライバーとの記念撮影



▲ドライバーにサインをもらう様子

しもやま支所だよりは、豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>



編集・発行／豊田市役所下山支所／毎月15日発行／〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1
TEL 0565-90-2111 / FAX 0565-90-3344 / E-mail shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp
地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を支所だよりに掲載しませんか！



しもやまラリーイベント実行委員会が各イベントへ出展

「とよたラリーウィーク 2021」の期間中、しもやまラリーイベント実行委員会が各イベントへ出展し、三河湖 S S の魅力だけでなく、しもやま美食 M A P や観光パンフレットを配布し、下山地区の魅力を情報発信しました。

11月7日(日)は、TOYOTA GAZOO Racing challenge in 豊田のメイン会場である鞍ヶ池公園に缶バッチワークショップを出展しました。

当日は、公園内の競技ルートをラリーカーが疾走し、観戦エリアには多くの来場者が訪れました。

缶バッチワークショップでは、順番待ちが出るほど盛況で、子どもたちが自由に色塗りやイラストを台紙に書き、世界にひとつだけの缶バッチを作っていました。

11月14日(日)には、豊田スタジアムで開催されたとよたクルマフェスタに出展し、缶バッチワークショップや特別仕様のミニ四駆を子どもたちと走らせ、多くの来場者で賑わいました。

しもやまラリーイベント実行委員会は、各種 SNS で情報発信しておりますので、ぜひご覧ください。



Instagram



Facebook

【11月7日の様子】



【11月14日の様子】



【缶バッチイメージ】





4団体がトヨタ工業学園の地域貢献活動を受け入れ

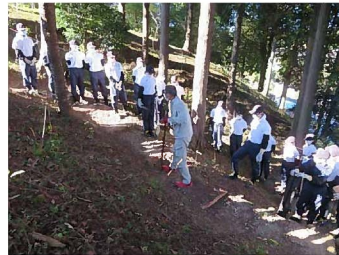
11月5日（金）、花山小学校をはじめとする4団体がトヨタ工業学園の地域貢献活動を受け入れました。

集落の高齢化や人手不足による地域課題の解決を目的としたこの活動も今回で5回目となります。

今回は、花山小学校で校舎階段のワックス剥離作業やランチルームの窓の清掃を行い、三河湖周辺では水辺の散歩道や香恋の館までの連絡路の整備をはじめ4団体が受け入れました。



▲三河湖周辺



▲下山交流館



▲土々目木クラブ



下山わくわくファームが NATURE ENGLISH CAMP を開催



11月6日（土）、7日（日）、NPO法人下山わくわくファームが三河高原キャンプ村で NATURE ENGLISH CAMP を開催しました。

このイベントは、独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金助成活動」として行いました。

当日は、2歳児から5年生26人が参加し、キャンプファイヤーやフィールドビンゴなどを楽しみました。

また、会話が英語のみの時間や英語のゲームを交え、五感で自然を感じながら教室では聞けない英単語などを学ぶ貴重な時間となりました。



農地活用に対する相談員派遣制度のお知らせ

豊田市の山村地域（旭・足助・稲武・小原・下山地区）における定住促進のため、農地所有者が農地の住宅建築に関する困りごとを愛知県行政書士会に所属する行政書士に相談できる制度があります。

農地を活用して住宅の建築、建て替えをご検討の方は、お気軽に下山支所へご相談ください。

対象者：山村地域に農地を所有しており、農地を活用して住宅建築を検討している方

窓口：山村地域の各支所

費用：初回のみ無料（2回目以降は、費用がかかります）

また、農ライフ創生センター下山研修所では「生きがいづくりコース4期生」を募集しています。生きがいづくりコースの詳細は、電話番号0565-91-0802へお問い合わせください。




令和3年分の確定申告のお知らせ

確定申告の相談・受付は、各地区の無料税務相談所または確定申告相談会場（豊田市福祉センター）をご利用ください。

○各地区の無料税務相談所

インターネットまたは電話による事前予約制（先着順）のため、予約なしでの相談はできません。詳しい日程及び予約方法は、「広報とよた1月号」または豊田市ホームページをご覧ください。

	インターネット予約	電話予約
受付開始	令和4年1月12日（水） 午前9時から	令和4年1月17日（月）以降 ※「広報とよた1月号」で案内
受付方法	豊田市ホームページから予約システムにアクセス  サイト内検索 <input type="text" value="無料税務相談所"/> × <input type="button" value="検索"/>	豊田市役所 市民税課へ電話 (0565-34-6617)

○確定申告相談会場（豊田税務署、豊田市福祉センター）

詳しい日程等は、「広報とよた1月号」をご覧ください。

○下山支所での確定申告関係書類の配布

配布開始日：令和4年2月1日（火）から

配布書類：確定申告書（A・B）、確定申告に関する手引き等、医療費明細書および納付書

※確定申告関係書類は、税務署または国税庁のホームページからも取得できます。

【問合せ】豊田市役所 市民税課 電話：0565-34-6617（直通）



年末年始のごみ収集に関するお知らせ

令和3年12月29日（水）から令和4年1月3日（月）は通常のごみ収集はありませんが、「燃やすごみ」・「資源の日」は臨時収集を行います。

また、プラスチック製容器包装の臨時回収、粗大ごみの収集はありません。

ごみの種類	収集地区	令和3年12月			令和4年1月		
		29日 （水）	30日 （木）	31日 （金）	1日 （土）	2日 （日）	3日 （月）
燃やすごみ	月・木曜日	休業日	臨時収集	休業日	休業日	休業日	休業日
	火・金曜日	休業日	休業日	休業日	休業日	休業日	休業日
資源の日	第1月曜日	臨時収集	休業日	休業日	休業日	休業日	休業日
リサイクルステーション	大沼町	開設	休業日	休業日	休業日	休業日	休業日

【問合せ】豊田市 環境部 ごみ減量推進課 電話：0565-71-3001

下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時

(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人 豊田市文化振興財団



多くのご来場
ありがとう
ございました！

しもやまスマイルフェスタ 10/31



地域の力が
結集！

今年度はコロナ禍のため、芸能は映像による発表、バザー・体験出店は地域限定、飲食販売・ブースの廃止、会場内の一方通行化など様々な制約をしたうえでの小規模開催となりました。

抽選会は、片付け終了後にコミュニティ会議各役員、事務局立会いのもと行いました。当選者の皆様おめでとうございます。



▲映像での芸能発表



▲展示



▲バザー



▲体験



▲中学生ボランティア活動の様子▲



▲抽選会の様子



講座案内 くらふとサロン



【内容】パッチワークキルト 見本展示中！
(かわいい小さな手提げバックを作ります！)

【日時】令和4年1月20日(木)
9時30分～12時30分まで

【会場】多目的ルーム

【対象/定員】どなたでも / 10人(先着)

【参加費】材料費実費徴収(1,200円)

【申込み】12月21日(火)9時30分から
電話・窓口(窓口優先)



講座報告



弦楽四重奏と楽しむトヨタの午後

11月14日(日) 参加者127人

東京より APUS 弦楽四重奏楽団を招き、コンサートを開催しました。トヨタ自動車(株)ご協力のもとトヨタテクニカルセンター下山を会場にお借りし、申込みも定員を超え多くの方にご参加いただきました。演奏では誰もが知っている身近な曲も取り入れられ、弦楽四重奏の響きに酔いしれる素敵なひとときでした。



年末年始休館のお知らせ

12月28日(火)～令和4年1月4日(火)まで

チヨリ大きな

和合の名号塔

絵く文なカモら ふうい

和合にある南無阿弥陀佛と彫られた下山大きな高さ4mの名号塔。これは同じ高にある高き5mもある常夜灯と合わせて、安政四年(1857年)江戸時代が終わる十年前(1857年)の村の平安を祈り立てられた名号塔だ。この二十年と天災が続き、飢き

や大きな台風災害から立ち直れないまま、村に疫病が流行って、二十人が

かかて三人をせくとした。今でもえ天災は恐い。まて昔の事

神仏に祈り上げるしかなくその思いを表わすため村の上屋敷

にあったみごとく大石を皆で掘り出し20mを物に水をまいて

凍らせて滑らせ、村人の力でずり出して運び、大事な田んぼ

も削って運び、今のところのすくと立てたんだよ。すると

五年後流行病の麻疹に10人もかかったのに誰一人死ななかった。それ

増々大切にしてあったんだよ。

ところが明治になって、神仏分離令が出た。それ

まで神も仏も仲よく一緒に祭ったの政府が神社を大事にするなら仏様は捨てる

のかく國中壊したんだよ。上にも役人が仏様を排除に来ると言われ

たあつちの村で、仏像や石仏を隠して護ったんだよ。

和合では今、密せ神と呼ぶのが、野辺の石仏を山入

者集りて行く集めて隠した。ほいでも名号塔は

運入なので、ゆいをもたんと集めてすまみを作せな

や名号塔にもいを巻いて大きなすまみに作たげな。

このおかげで、役人の目を逃出ることが出来、今も

和合の山で、おんがんがんのまじりのまじり。

